



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships
30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8264 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

**低炭素技術輸出促進
人材育成支援事業**

2019年10月

募集要項

台湾生産性向上研修コース
～スマートものづくりによる生産プロセス改善と
運用改善を通じた省エネの実現～

The Program on Productivity Improvement for Taiwan

**-Energy conservation through the improvement of production process
as well as the improvement of operation practices in production lines**

by Smart Manufacturing -

[TWPI]

(Carbon Reduction Technology Promotion Program)

2020年2月17日～2月28日

1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。

これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2018 年度（平成 30 年度）までに世界 171 カ国から延べ 194,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 204,000 人余りが参加しています。

「生産性向上研修コース（TWPI）」は、一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）が経済産業省の「低炭素技術輸出促進人材育成支援事業」のスキームで実施する管理研修コースの 1 つです。本事業は新興国等の製造企業の現地人材を育成することにより、日本の省エネ技術の海外展開を促進し、産業分野におけるエネルギー利用の効率化を図り、温室効果ガスの排出削減に貢献することを目的としています。

本コースでは、台湾を対象地域とし、自動車、産業機械及び電気機械分野における生産プロセスの省エネ化のための三つのアプローチ（生産プロセス改善、運用改善、高効率省エネルギー設備導入）と具体的な手法を学び、策定した行動計画を帰国後に実行することで、自社の生産現場における省エネ化を実現することを目的としています。

2. 対象地域：

台湾

3. 参加者の人数：

22 名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 台湾において、自動車、産業機械及び電気機械分野（三業種）の企業もしくは三業種企業へのサプライヤー企業に属する方で、三業種製品あるいは三業種向け製品を製造している製品生産ラインを管轄もしくは担当している方。
 - 自動車分野（自動車、自動車部品 等）
 - 産業機械分野（工作機械、生産用・業務用機械 等）
 - 電気機械分野（重電機器、電子・情報通信機器、精密機器、家庭電器 等）
 - (2) 研修で策定する省エネに向けた行動計画を生産現場で展開する立場にある経営幹部、工場長、生産現場管理者、専門家（工程管理やエネルギー管理などを担当するエンジニア等）
 - (3) 本研修で策定する行動計画について帰国後 6 ヶ月の時点での進捗状況をまとめ、フォローアップレポートを提出できる方
 - (4) 年齢は 20 歳以上の方
 - (5) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
 - (6) 心身健康な方
 - (7) 台湾に居住の方
 - (8) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
 - (9) 過去に低炭素技術輸出促進人材育成事業及び技術協力活用型・新興国市場開拓事業（研修・専門家派遣事業）の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- * 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望

している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。)

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

5. 応募方法：

以下の応募書類を **2019 年 12 月 23 日（月）** までに、AOTS 研修・派遣業務部に到着するよう提出してください。

(国内からの申込みの場合)

AOTS のホームページ内の以下の案内をご参照ください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/crtp/>

※上記 AOTS 所定様式は AOTS ホームページからダウンロードできます。

【日本語】 <https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-teitanso>

(海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合)

AOTS 海外協力団体を通して、以下の応募書類一式を **2019 年 12 月 23 日（月）** までに AOTS 事業統括部に到着するよう提出してください。

応募書類の提出期限は、AOTS 事業統括部（10．お問合せご参照）にお問合せください。

お申込者には海外協力団体による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (2) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
- (3) 顔写真（4×3cm）2 枚（裏面に名前を書いてください）
- (4) 勤務先概要を紹介する資料
- (5) パスポートコピー

※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。

- (6) 事前研修レポート（AOTS 所定様式）
- (7) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式）
- (8) 研修生個人情報の取り扱いについて（AOTS 所定様式）
※この書類は、本人が署名の上ご提出ください。内容に同意いただけない場合、または未提出の場合、コースへの参加が認められません。
- (9) 管理研修の研修効果について（AOTS 所定様式）
※この書類は、質問形式となっております。原則として本人の勤務先の代表者の方がご記入ください。（本募集要項の最後にこの様式があります。）
- (10) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用）

注意：

※ソフトコピーでの書類は受け付けません。

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※上記 AOTS 所定様式については AOTS 事業統括部（10．お問合せご参照）にお問合せください。

提出された応募書類は、2020 年 1 月 23 日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

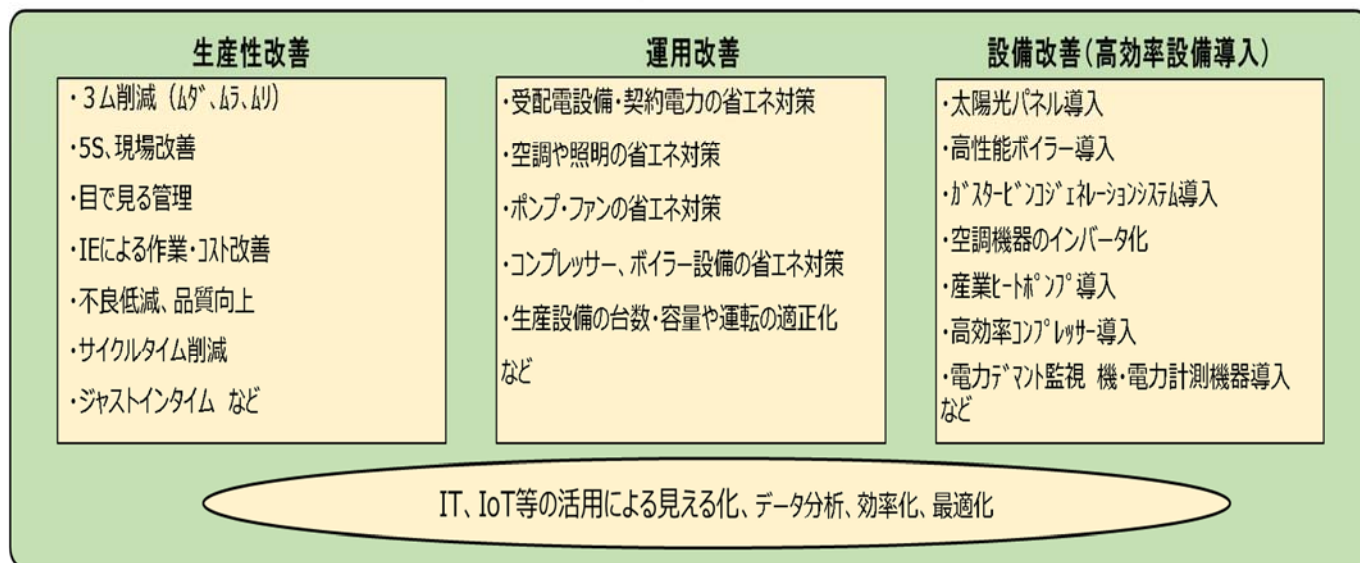
注：応募者が締切日時時点で18名に満たない場合、本コースを中止または延期することがあります。

6. 研修コースの概要：

■ 目的

本コースでは、自動車、産業機械及び電気機械分野における生産プロセスの省エネ化のための三つのアプローチ（生産プロセス改善、運用改善、高効率省エネルギー設備導入）と具体的な手法を学び、策定した行動計画を帰国後に実行することで、自社の生産現場における省エネ化を実現することを目的としています。

生産プロセスの省エネのための三つのアプローチ



■ 期間

2020年2月17日（月）～2月28日（金）（2週間）

■ 内容

【プレ・ステップ】

事前レポート1及び2に記載された自社の現状、課題、問題、改善目標数値等を活用して、コース最終日の発表に向けて準備を進めることとなります。そのため、参加者は事前に各社で設定する目標値（例：環境負荷に係る値）及び当該数値の根拠となるデータ等を来日に向けて準備し、持参いただきます。

【ステップ1】

低炭素化が求められる背景を概観し、製造業が果たすべき役割と責任について意識を高め、そのような潮流の中で日本の製造業がどのような取り組みを行っているのかを学びます。日本企業が得意とする高効率生産システムの構築がムリ・ムラ・ムダを排除し、製造エネルギーの低減へとつながることを理解します。

【ステップ2】

台湾においてもスマートものづくりの推進が重要な産業政策として掲げられています。本研修コースにおいては、①日本の生産方式による生産プロセス改善、②生産現場における運用改善、③高効率省エネルギー設備導入、これら三つのアプローチについて、IoTの活用やスマートファクトリー化による生産性向上を通じた省エネ化に焦点を当てます。また企業見学を通して、実際にこれらの管理手法がどのように現場で実践されているかについて理解を深めます。

【ステップ3】

本研修で学んだことを活かし、上記三つのアプローチで省エネに向けて具体的にどのように取り組んでい

くのか、目標値を見直した上で、自社の生産現場における省エネルギー化推進のための行動計画を策定し、最終日に発表します。

コースは通常午前 3 時間、午後 3 時間の講義からなり、夕食後にグループ討論が行われることもあります。日程表（予定）をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は中国語通訳付きで行われます。コースで使用する資料と教材は中国語で作成されます。

研修場所と宿泊施設（変更される可能性があります。）

AOTS 東京研修センター (TKC) <http://www.aots.jp/jp/center/about/tkc.html>

120-8534 東京都足立区千住東 1 丁目 30-1

電話： 03-3888-8231（受付） ファックス： 03-3888-0763

■ 7. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

【試算例 1】中堅・中小企業の場合

2/16来日・2/17～2/28研修コース参加・2/29帰国

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	199,374	132,916 [2/3]	66,458 [1/3]
2. 研修実施費	407,000	239,000	168,000
3. 国内移動費 (成田 空港 - 東京研修センター)	5,360	5,360	
合計	611,734	377,276	234,458

【試算例 2】一般企業の場合

2/16来日・2/17～2/28研修コース参加・2/29帰国

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	199,374	66,458 [1/3]	132,916 [2/3]
2. 研修実施費	407,000	239,000	168,000
3. 国内移動費 (成田 空港 - 東京研修センター)	5,360	5,360	
合計	611,734	310,818	300,916

※受入費は下記渡航費想定額及び滞在費基準額一覧をもとに計算しております。渡航費の実際の金額は購入した航空券により異なります。

※別途、運営賛助金のお支払いについてご相談させていただきます。

※研修コース参加後に実地研修をご希望の場合、経費については、AOTS研修・派遣業務部 研修業務グループ（10．お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。

◎渡航費想定額

台北（台湾）－東京 往復	61,700 円
--------------	----------

※あくまでも想定額です。実際の金額は購入した航空券により異なります。

◎滞在費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舎費・食費	来日日のみ	8,180 円／泊
	来日日以外	9,020 円／泊
研修旅行時	宿舎費	10,267 円／泊
	食費	2,620 円／泊
雑費		1,040 円／泊

<海外の法人からお申し込みの場合>

ダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

8. 査証 (V I S A) の取得について :

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

AOTS 研修参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって在外日本国大使館/総領事館 (以下「在外公館」とする) にて「研修」査証の申請をし、査証を取得していただきます。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合がありますので時間に余裕をもって申請願います。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「A P E C ・ビジネス・トラベルカード (A B T C)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致しているかについて、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

9. 個人情報の取扱いについて :

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

(1) 個人情報の管理者 : 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長

連絡先 : 総務企画部 総務グループ

電話 : 03-3888-8211 E-mail : kojinjoho-cj@aots.jp

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、研修生受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。それ以外の利用目的又は法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

10. お問い合わせ :

一般財団法人 海外産業人材育成協会 (AOTS)

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

研修・派遣業務部 研修業務グループ

住所 〒104-0061 東京都中央区銀座 5-12-5 白鶴ビル 4 階

電話 : 03-3549-3051

Fax : 03-3549-3055

E-mail : g-ukeire-ak@aots.jp

海外の法人から直接のお申込の場合

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東 1 丁目 30-1

電話 : 03-3888-8256

Fax : 03-3888-8264

E-mail : shouhei-au@aots.jp

* 台湾における協力団体についての情報は事業統括部海外協力グループにお問い合わせください。

台湾生産性向上研修コース [TWPI]
 - スマートものづくりによる生産プロセス改善と運用改善を通じた省エネの実現 -
日程 (予定)

2020年2月17日～2月28日

AOTS 東京研修センター (予定)

月/日	午前	午後
2/16(日)	来日	
17(月)	オリエンテーション/開講式 【講義】低炭素化社会実現に向けた製造業の役割と責任	【講義】日本企業の省エネルギーへの取り組み
18(火)	【講義】日本的生産管理手法による品質と生産性の向上	
19(水)	【講義】リーン生産システム*	【講義・演習】IoTを活用した生産プロセスの改善、スマートものづくり①
20(木)	【講義・演習】IoTを活用した生産プロセスの改善、スマートものづくり②	
21(金)	【講義・演習】現場の運用改善による省エネ、行動計画策定ガイダンス	【見学】製造現場の改善活動事例
22(土)	休日	
23(日)	休日	
24(月)	(移動)	【見学】リーン生産システム事例
25(火)	企業等見学 (遠隔地)	【見学】製造現場の省エネルギー活動事例
26(水)		【見学】スマートファクトリー事例
27(木)	【講義】高効率機器導入による省エネ	【講義】行動計画策定・コンサルテーション
28(金)	最終発表：自社の省エネ・生産性向上に向けた行動計画／修了式	
29(土)	帰国	

*リーン生産システム (Lean Production System: LPS) : トヨタ生産方式(Toyota Production System: TPS)を研究し体系化された、全体的にムダなく強靱な製造工程を実現するための生産システム。贅肉がなく引き締まって痩せている状態を意味する英単語“Lean”に由来する。

- 注：1) 上記の日程は講師、見学先の都合、その他諸般の事情によって変わることがあります。
 2) 夕食後にグループ討論が行われることがあります。
 3) 土曜と日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

事前レポート／フォローアップレポート提出同意書

台湾生産性向上研修コース[TWPI]

～スマートものづくりによる生産プロセス改善と運用改善を通じた省エネの実現～

応募者は、下記の項目を記入し、他の応募書類と共に AOTS に提出してください。

このレポートは、応募者選考のための参考のほか、コースカリキュラム作成時の資料として、またコース中に行われる発表会やグループ討論に利用されます。

- ・すべての項目について、はっきりと具体的に記入してください。
- ・署名を除き、できるだけ手書きを避けてください。PC 入力が見ましいです。

事前レポート

1. 氏名	
2. 地域（県・市）	
3. 勤務先名称	
3-1. 日本企業との関係 当てはまる欄にチェックを入れ、詳細を記入ください。	<input type="checkbox"/> 業務関係有り 内容： _____ 日本企業名： _____ <input type="checkbox"/> 現在は関係がないが、将来の業務関係を希望 内容： _____ 日本企業名： _____ <input type="checkbox"/> 現在も将来も希望しない
4. 職位・所属 組織図と其中でのあなたの職位を明示してください。添付でも結構です。	

5.あなたの会社で製造している製品及びあなたの職務について当てはまる欄にチェックを入れ、詳細を記入ください。	製品製造している製品及びあなたの職務	製品		職務		左記製品生産ラインを管轄する経営幹部	左記製品生産ラインを管轄する工場長	左記製品生産ラインを管轄する管理者	左記製品生産ライン担当する専門家あるいは技術者		
				自動車		完成品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
				部品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		産業機械		完成品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
				部品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		電気機械		完成品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
				部品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		製造している製品及びあなたの職務の詳細									
		6. あなたの会社で、生産性向上や省エネルギー化を阻害している要因									

<p>7. 上記 6.に対して考えられる対策と制限要因</p>	
<p>8. 本研修に期待すること</p> <p>6.7.で挙げられた問題点と関連付けて述べてください。</p>	

9.	A か B を選んで下さい	現状値		目標値
低炭素化へ向けて、電力削減目標値をご記入ください。(現在と研修終了帰国後) A と B 両方を書く必要はありません。 注：もしあなたの部署が生産に間接的に関与している場合は、工場全体について述べてください。 目標値は数字で具体的に書いてください。	A: 会社、組織全体の電力削減目標	_____ (kWh/year)	⇒	_____ (kWh/year)
	B: 自部署、事業所、工場での電力削減目標	_____ (kWh/year)	⇒	_____ (kWh/year)
注：B を選んだ場合は、どの生産プロセスのことかを明記して下さい。				

フォローアップレポート提出同意書

宛先：AOTS

私は TWPI プログラム参加後 6 ヶ月の時点において、自社で達成した生産性改善および省エネルギー化の状況について、フォローアップレポートを提出することに同意いたします。

日付: _____

応募者氏名: _____

署名: _____

2W (低炭素技術輸出促進人材育成)

管理研修の研修効果について

管理研修の研修効果に関する以下設問にお答えください。ご回答につきましては個別に公表することはありません。

研修コース名 (TWPI) :

国 : TAIWAN

企業名 :

記入者 (組織代表者) 氏名 :

記入者 (組織代表者) 役職 :

研修参加者氏名 :

設 問 1 :

この管理研修には日本政府の補助金を利用されていますが、同じテーマについて貴社独自で研修を行った場合あるいは外部の人材育成機関の研修に参加した場合と AOTS の研修を利用した場合との効果の違いについて、以下該当する回答の口に“X”を記してください。複数回答も可能です。

- 研修テーマに対する理解がより増す
- モチベーションがより向上する
- 日本に対する理解がより増す
- コミュニケーション能力がより向上する
- 社内定着率がより向上する
- その他 : [_____]

設 問 2 :

本研修によって学んだことを、研修参加者が帰国後、あなたの会社で活用させる予定ですか？以下該当する回答の口に“X”を記してください。

- はい、活用させるつもりである
- いいえ、活用させるつもりはない

設 問 3 :

設問2で「はい、活用させるつもりである」と答えた方に質問します。学んだことを会社で活用した場合、そのことによって研修後1年間の間に何人の管理職、従業員に影響を与えることができますか。おおよその人数を記入ください。

おおよそ _____ 人

設 問4：

設問2で「はい、活用させるつもりである」と答えた方に質問します。本研修で学んだことを活用した場合、どのような効果が見込まれると考えますか。以下該当する回答の口に“X”を記してください。複数回答も可能です。

- 低環境負荷・省エネの実現
 技術開発・製品開発設計の現地化
 生産能力の拡大 〔おおよそ _____〕 %
 生産性の向上 〔おおよそ _____〕 %
 製品・サービスの品質向上 〔おおよそ _____〕 %
 コスト削減 〔おおよそ _____〕 %
 販路開拓
 その他 〔 _____ 〕

設 問5：

あなたの会社の売上に関する金額を記入ください。

昨年度の売上実績額 〔 _____ 〕 USD ※1USD= 112 円
 今年度の売上見込額 〔 _____ 〕 USD ※1USD= 112 円

設 問6：

本研修を実施するために、一人当たり約 6,000USD のコース経費が必要になります。本研修は、この費用 (6,000USD) に対して見合う研修効果が現れると思いますか。以下該当する回答の口に“X”を記してください。

- はい
 いいえ

設 問7：

上記設問6について更にお聞きします。コース経費 (6,000USD) を“1”とした場合、本研修によって得られる研修効果を数値で表した場合、おおよそどの程度を見込まれていますか。研修終了後 5 年間までの研修効果を目処として、以下該当する回答の口に“X”を記してください。あくまでも非常におおまかな目安で結構ですので、できるかぎり回答をお願いします。

- 1.0 未満 ⇒ 数値を記入ください 〔 _____ 〕
 1.0 以上 ~ 1.5 未満
 1.5 以上 ~ 2.0 未満
 2.0 以上 ~ 2.5 未満
 2.5 以上 ~ 3.0 未満
 3.0 以上 ⇒ 数値を記入ください 〔 _____ 〕

以上